

第 29 回日本組織適合性学会大会の御案内

第 29 回日本組織適合性学会大会

大会長 田中 秀則

(公益財団法人 HLA 研究所 所長)

副大会長 河本 宏

(京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 再生免疫学分野 教授)

日本組織適合性学会・会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 29 回日本組織適合性学会大会について、コロナ影響により 1 年延期されましたが、昨年同様、京都市で開催させていただくことになりました。

本大会では「MHC 多様性と医療における適合性」をテーマに、MHC 多型性における最新の基礎研究と、医療・臨床面での MHC の適合性とその重要性について、各分野の先生方と連携することで、基礎または臨床の側面から会員の皆様に議論をしていただける学会にしたいと考えております。是非、多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

現時点では、以下の会場で開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染再拡大防止対策が必要な場合は、開催方法を変更することがありますのでご留意ください。

会 期：2021 年 9 月 3 日（金）～9 月 5 日（日）

会 場：京都市勧業館 みやこめッセ

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 9 番地の 1

TEL：075-762-2630, URL：<https://www.miyakomesse.jp/>

(大会 WEB サイト：<http://procomu.jp/jshi2020/index.html>)

2021 年 3 月 23 日より演題登録および参加登録を開始しております。多数の投稿とご参加を心よりお待ちしております。プログラムについては現在準備中ですが、すでに決定している企画を以下に紹介いたします。

特別講演（予定）

特別講演 1：奥野恭史先生（京都大学医学部人間健康科学系専攻ビッグデータ医科学 教授）

特別講演 2：Daniel E Geraghty（Fred Hutchinson Cancer Research Center）

特別講演 3：坂口志文先生（大阪大学免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学 特任教授）

シンポジウム（予定）

再生医療，がん免疫，QCWS，造血細胞移植，臓器移植に関するシンポジウムを計画

その他開催事項

学会賞受賞講演，学術奨励賞口演，教育講演（HLA 認定技術者講習会），QCWS 集会，教育講演（Advance stage）（初開催），初心者講習会，一般演題（口演・ポスター），ランチョンセミナーなどの開催を予定しております。認定制度関連の教育講演（HLA 認定技術者講習会）および QCWS 集会は 9 月 5 日（日）の開催を予定しています。また，新型コロナウイルス感染再拡大防止対策として懇親会は開催を予定してお

りませんのでご了承ください。

演題応募期間：2021 年 3 月 23 日（火）～4 月 30 日（金）（予定）

応募概要：オンラインでの受付のみとさせていただきますので、詳細は大会ホームページ「演題登録」のページをご覧ください。

※今回の大会では、英語による口演を企画していますので、奮って応募ください。

参加登録：期間：2021 年 3 月 23 日（火）～7 月 16 日（金）

新型コロナ感染再拡大防止の一環として参加登録受付は事前参加登録のみとなります。

必ず上記期間中にお申し込みください。

詳細は大会ホームページ「参加登録」ページをご覧ください。

宿泊のご案内

大会側で少ない部屋数ですが確保しております。ご希望の方は大会ホームページの「宿泊のご案内」よりお申し込み下さい。

託児のご案内

現状、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たないことから、お子さまの安全を最優先に考慮し、託児室の設置を見合わせることにいたしました。ご利用を予定されておりました皆様には誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

大会事務局・運営事務局

大会事務局：公益財団法人 HLA 研究所 内

第 29 回日本組織適合性学会大会事務局

〒 600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134

京都リサーチパーク 1 号館 2 階

TEL: 075-313-5201 FAX: 075-313-5202 E-MAIL: jshi2020@hla.or.jp

学術集会運営事務局：株式会社プロコムインターナショナル

〒 135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階

TEL: 03-5520-8821 FAX: 03-5520-8820 E-MAIL: jshi29@procom-i.jp

2021 年 3 月 15 日

2021 年度の学会賞ならびに学術奨励賞候補者の公募について

一般社団法人 日本組織適合性学会
理事長 一戸 辰夫

学会員の皆様方へ

日本組織適合性学会では 2014 年（平成 26 年）度より、高い権威をもつ「学会賞」と、若手学会員の学術研究を奨励する「学術奨励賞」を設けております。本学会の定める「学会賞」ならびに「学術奨励賞」の候補者の資格や選考規定により、学会賞は「組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野において顕著な業績をあげ、本会の発展に特筆すべき功績を残した者を表彰し、もってその栄誉をたたえること」を目的とし、一方、学術奨励賞は「組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野における、秀でた学術的研究を若い学会員に奨励するために優れた若手研究者を表彰し、もって当該分野の発展に寄与すること」を目的としております。

つきましては、本規定に則り、2021 年度の日本組織適合性学会の学会賞ならびに学術奨励賞の候補者を、以下の要領で公募いたしますので、奮ってご応募ください。

1. 助成内容

組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野において顕著な業績をあげ、本会の発展に特筆すべき功績を残した学会員または名誉会員（年齢制限なし）に学会賞を授与いたします。また、2021 年度学術集会大会（第 29 回日本組織適合性学会大会、大会長：田中秀則）に、学術奨励賞の受賞候補者として応募された一般演題の中から、特に優秀と認められた演題の筆頭演者（原則として 2021 年 4 月 1 日時点で満 45 才以下）に学術奨励賞を授与いたします。授与件数は学会賞 1 名（賞金 10 万円）、学術奨励賞若干名（賞金 5 万円、あるいはそれ以下）を予定しております。

2. 応募資格

(1) 学会賞

本学会の正会員として 5 年以上の会員歴があり、以下の条件を満たす者とする。

- 1) 組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野において顕著な業績をあげ、組織適合性学会の発展に特筆すべき功績を残した実績を有すること。
- 2) 本学会の正会員または名誉会員であること
- 3) 正会員である場合は、当該年度の会費を納入済みであること。

(2) 学術奨励賞

本学会の正会員（当該年度大会までに正会員となる者を含む）であり、以下の条件をすべて満たす者とする。

- 1) 組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野に関する学術研究において、その内容が優れていること。
- 2) 当該年度の会費を納入済みであること、または当該年度の学術集会大会までに正会員として会費を納入すること。
- 3) 学術奨励賞を受賞した者は、原則として次年度以降も正会員を継続すること。
- 4) 当該年度の学術集会大会に、筆頭演者として演題を応募すること。
- 5) 応募しようとする演題の内容において、応募者が中心的な役割を果たしていること。

- 6) 応募しようとする演題の内容が、本学会に未発表であること。
- 7) 受賞後に MHC へ原著論文あるいは総説を執筆できること。
- 8) 過去 3 年間に学術奨励賞を受賞していないこと。
- 9) 学術奨励賞の応募者は当該年度の 4 月 1 日において、原則として 45 才以下であること。

3. 応募・推薦方法

(1) 学会賞

学会賞は自薦または他薦とし、2021 年の 6 月末日までに、候補者に関する以下の書類を日本組織適合性学会 広島事務支局 (e-mail: jshi-hiroshima@umin.ac.jp) へてにメール添付で提出する。なお、他薦の場合には、推薦者は正会員である必要があります。

1) 履歴書

書式は自由とし、A4 用紙にて 1 枚程度とする。連絡先住所、電話番号、FAX、e-mail アドレス、生年月日、年齢を記入する。

2) 業績概要

書式は自由とし、A4 版用紙にて 2 ～ 3 枚程度とする。

3) 論文業績リスト

書式は自由とし、代表的な論文 3 編について、別冊（コピーも可）各 1 部を添付する。

4) 応募の動機（他薦の場合は推薦書）

書式は自由とし、学会賞への応募理由（他薦の場合は推薦理由）を A4 版用紙 1 枚に記載する。

(2) 学術奨励賞

学術奨励賞に応募しようとする会員は、学術集会大会の一般演題申込み締切り日までに、以下の書類を学術集会大会事務局へてに提出する。

1) 抄録

一般演題に応募した抄録

2) 応募ファイル

1 頁目に、演題名、演者（全員）、所属（全員）、および応募者（筆頭演者）の連絡先住所、電話番号、FAX、e-mail アドレス、生年月日、年齢を記入する。2 頁目以降に、応募した（1）研究の背景、（2）研究の意義、（3）日本組織適合性学会との関わり（これまでの関わりと、今後の方針・計画など）を、項目ごとに 300 ～ 400 字程度にまとめる。

4. 選考および結果通知について

(1) 学会賞

評議員の中から評議員による選挙で選ばれた選考委員により構成される、学会賞選考委員会が選考を行う。委員会は、応募・推薦のあった学会賞受賞候補者より、1 名を受賞候補者として選考した後に、これを理事会に推薦するものとする。なお、委員は密接な利害関係がある候補者の審査には、加わらないものとする。理事会は、学会賞選考委員会から推薦された受賞候補者 1 名について審議し、受賞者を決定した後に、評議員会の承認を経て総会に報告するものとする。

(2) 学術奨励賞

理事長、学術賞担当理事、学会賞選考委員、ならびに学術賞担当理事が選考した若干名を含む評議員によって構成される、学術奨励賞選考委員会が選考を行う。委員会は、応募があった奨励賞受賞候補者の中から、

当該年の学術集会大会中の各候補者の口頭発表内容の評価等を参考にして、奨励賞選考委員会にて若干名を受賞候補者として選考した後に、これを理事長に推薦し承認を得る。なお、応募者が多い場合には、委員会が応募書類の書面評価を基にして、学術集会大会中の受賞候補者口演の演者を選考する。委員は密接な利害関係がある候補者の審査には、加わらないものとする。当該年の学術集会大会中に選考結果を公表し、表彰式を実施する。

5. 受賞者にかかる義務について

(1) 学会賞

学会賞受賞者は、原則として受賞年度に開催される学術集会大会期間中に、受賞講演を行う。

(2) 学術奨励賞

- 1) 学術奨励賞受賞者は、助成が行われた研究課題に関する報告書（様式は別途通知します）を、日本組織適合性学会 広島事務支局 (jshi-hiroshima@umin.ac.jp) あてに提出する。
- 2) 受賞後原則として3ヶ月以内に、受賞課題に関する原著論文あるいは総説をMHCへ投稿する。

6. 助成金の使途

使途について特に制限はないが、学会賞・学術奨励賞であることの趣旨をご理解のうえ、適切に使用しなければならない。なお、学術奨励賞受賞者については使途と、その内訳を前述の報告書に記載する。

7. 問い合わせ先

本件に関する問い合わせは、日本組織適合性学会 広島事務支局 (e-mail: jshi-hiroshima@umin.ac.jp) あてに、お願いいたします。

組織適合性検査技術者認定制度 令和3年度・認定HLA検査技術者講習会のお知らせ

組織適合性検査技術者認定制度委員会

委員長 橋口 裕樹

組織適合性教育委員会

委員長 椎名 隆

日 時：令和3年9月5日（日曜日）

時刻：9時00分～11時00分（予定）

会 場：第29回日本組織適合性学会 大会会場

京都市勧業館 みやこめッセ

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1（TEL: 075-762-2630）

テキスト：テキストは講習会の約1ヶ月前に、学会ホームページ上に掲載しますので各自、御参照ください。
会場でのテキストの販売はいたしません。

受講証明書：認定制度に関わる受講証明の受領を希望される方には、会場入口の受付にて、1人につき1枚を発行いたします。

内 容：各講習とも質疑応答を含めて40分間を予定しています。

(1) HLAに関する基礎医学的な講演

成瀬 妙子 先生（長崎大学熱帯医学研究所）

「基礎知識：認定制度試験問題一解説とポイント整理一」

(2) HLA タイピングあるいは抗HLA抗体検査に関する講演

東 史啓 先生（日本赤十字社血液事業本部）

「HLA DNA タイピング検査技術」

(3) 臓器移植の臨床医学に関する講演

大段 秀樹 先生（広島大学大学院医系科学研究科）

「臓器移植のための免疫プロファイリングと免疫モニタリング」

この講習会は、今後HLA検査技術者認定を取得、あるいは更新しようとする者を対象に実施されますが、それ以外の大会参加者であっても自由に参加することができます。事前に受講希望届けを提出し、事前登録していただく必要はありません。

初心者講習会の開催及び参加希望者募集について

組織適合性学会教育委員会
委員長 椎名 隆
組織適合性学会初心者教育部会
部会長 黒田ゆかり

日本組織適合性学会では、学会大会プログラムにおいて QC ワークショップや技術者講習会を開催し、学会員の組織適合性検査に関わる知識や技術の向上を目指しております。しかし一方では、組織適合性検査に関する基礎的な知識の習得や日常業務に役立つポイントなどの情報交換ができる時間を十分に確保することは難しい状況があります。そこで、今年度も下記の通り、HLA および HLA 検査に関する基礎的な内容の教育訓練を目的とした「初心者講習会」（複数企画を予定）を大会期間中に開催する事と致しました。

記

- 1, 対 象 : 大会参加者
(組織適合性検査の初心者で、HLA の基礎的内容の教育訓練を希望する方)
- 2, 日 時 : 日本組織適合性学会第 29 回大会期間中
2021 年 9 月 3 日 (金) 17:20 ~ 19:40 (予定)
- 3, 会 場 : 京都市勧業館 みやこめっせ
- 4, 企 画 : 基礎講義およびワークショップ (WS) (予定)
(基礎講義)「基礎講習へ おいでやす」
(WS-1) タイピングに関する内容 (実務経験 0 ~ 3 年向け)
概要 : PCR-SSO (Luminex) 法を中心に必要な基礎を学ぶ
(WS-2) 抗体検査に関する内容 (実務経験 0 ~ 3 年向け)
概要 : フローサイトメトリーによる抗体検査を中心に必要な基礎を学ぶ
- 5, 定 員 : 基礎講義は 50 名程度, WS-1 及び WS-2 は各 20 名程度 (予定)
(定員数を超える場合は、当委員会にて選考を行う場合があります。)
- 6, 参加費 : 無料
- 7, その他 : 申し込みに関する詳細は 6 月中旬に日本組織適合性学会のホームページ (<http://jshi.umin.ac.jp/>) に掲載致します (応募締め切りは 7 月末を予定しています)。なお、上記内容は大会の開催形態などの状況により変更する場合があります。

以上

日本組織適合性学会認定制度委員会委員 名簿

組織適合性技術者認定制度委員会						
委員長	橋口 裕樹		副委員長		清水 まり恵	
委員	石塚 敏	一戸 辰夫	大橋 順	木村 彰方	黒田 ゆかり	高 陽淑
	椎名 隆	田中 秀則	中島 文明	成瀬 妙子	藤井 明美	宮寺 浩子
	湯沢 賢治					
資格審査部会（※施設認定担当）						
部会長	石塚 敏		副部会長		藤井 明美※	
部員	清水 まり恵	田中 秀則※	成瀬 妙子	橋口 裕樹※	安尾 美年子	
教育委員会（教育部会）						
部会長	椎名 隆		副部会長		大橋 順	
部員	石塚 敏	太田 正穂	大貫 優子	木村 彰方	黒田 ゆかり	高 陽淑
	清水 まり恵	土屋 尚之	成瀬 妙子	平山 謙二	村田 誠	森島 聡子
試験問題検討部会						
部会長	成瀬 妙子		副部会長		木村 彰方	
部員	一戸 辰夫	王寺 典子	大橋 順	椎名 隆	土屋 尚之	西村 泰治
	平山 謙二	湯沢 賢治				
QCワークショップ部会						
部会長	高 陽淑		副部会長		黒田 ゆかり	石塚 敏
部員	一戸 辰夫	内田 みゆき	奥平 裕子	木村 彰方	高橋 大輔	中島 文明
	橋口 裕樹	藤原 孝記	宮崎 孔	湯沢 賢治		
ワーキンググループ						
ワーキンググループ	リーダー		メンバー			
抗HLA抗体WG	杉本 達哉		白水 隆喜	横沢 佑弥		
表記法WG	黒田 ゆかり		石塚 敏	木村 彰方	田中 秀則	
評価方法検討WG	石塚 敏		黒田 ゆかり	高 陽淑	田中 秀則	中島 文明